

出演者



福留なぎさ



中村麻梨絵



中野優子



青地英幸



高橋拓真



廣田亮



上野裕之



大森いちえい



細岡雅哉



山木亜美



柿崎俊也



鈴木啓三

エレクトーンで奏でるプッチーニ ～ 心震わすオペラの名曲～

オペラといえば豪華なオーケストラ。でも、ヤマハ・エレクトーンなら、2台あればその壮大な世界を描き出せる。そこに同じくヤマハのシンセサイザーを加え、圧倒的な音色の多彩さ、繊細な表現力——まるで劇場にいるかのような臨場感をお届けします。

今回お届けするのは、イタリア・オペラの巨匠 プッチーニの名作。

第一部では「トスカ」「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」など誰もが一度は耳にしたことがある作品から名曲の数々を。

そして第二部ではプッチーニが生涯初めて手がけたオペラ『妖精ヴィッリ』。オペラ作曲家としての第一歩を刻んだこの作品には、すでに後の名作へとつながる美しい旋律と情熱が詰まっています。なかなか上演される機会の少ないこの貴重な作品を、是非お聴き逃しなく！

日本には、豊かな経験を持つ一流の音楽家や、輝く才能を秘めた若手歌手が数多くいます。しかし長引く不況の影響で演奏の機会は減少するばかり——。

私たちは、そんな音楽家たちが輝ける場を増やし、オペラの感動を、そして音楽の楽しさをもっと身近に、より多くの人にお届けしたい……という思いでこの公演を企画しました。

“エレクトーンが描くオペラ × 心揺さぶる歌声”

この特別な響きを、是非あなたの耳で、心で、ご体感下さい。

妖精ヴィッリ あらすじ

G.Puccini

Le Villi

第1幕

春の森にあるグリエルモの家で、娘アンナとロベルトの婚約を祝う宴が開かれている。ロベルトは遺産を受け取るため旅立つことになっており、村人たちは彼の将来を期待している。宴の後、アンナはロベルトの鞆に勿忘草を忍ばせ彼の無事を願う。出発前二人は愛を確かめ合うが、アンナは不吉な予感を抱く。祈りと祝福の中、村人たちに見送られながらロベルトは旅立つ。

第2幕

マインツでロベルトは妖女サイレーンに誘惑され、恋人アンナを裏切る。失意のアンナは彼を待ち続けるが、ついに命を落とす。彼女の死後、伝説の妖精ヴィッリが現れ裏切り者を罰するため舞う。サイレーンに捨てられたロベルトは森へ戻り、幻影に苦しむ。ついに亡霊となったアンナとヴィッリ達の踊りの中に引き込まれ、死ぬまで踊り続ける。アンナは「お前は私のもの」と告げ、ヴィッリと亡霊だちが「神は正しい」と叫び幕が降りる。